

令和7年
2025年

6月11日
水曜日

第11730号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



京都青年会が勉強会で子牛競り市場を視察……P6

▶ 農畜産業振興機構、食肉販売動向調査「調査の概要と24年度下半期、25年度上半期の特徴」①
…………… P 2

▶ 全肉連、経営力強化推進委員会と成功事例選定委員会を実施…………… P 2～3

▶ 第20回食育推進全国大会で特別セミナー「服部幸應の食育の教えをつなぐ」開催……………P3

▶ アグロスーパー、チリの養豚事情をめぐるセミナーを開催…………… P 4

▶ 宮城県食肉3団体が、令和6年度合同総会を開催…………… P 4～5

▶ 広島食肉3団体が総会、生衛組合の新理事長に垣本氏を選出…………… P 5

▶ 京都青年会が勉強会で子牛競り市場を視察……P6

▶ 米国、メキシコからの生体牛の輸入を再度停止…P7

▶ [資料]2025年4月分の食肉輸入通関実績①…P8

▶ [資料]2025年4月分の食肉輸入通関実績②…P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]10日……P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]10日…P11

注目のヘッドライン

農畜産業振興機構、食肉販売動向調査「調査の概要と24年度下半期、25年度上半期の特徴」①

…詳細はP2

全肉連、経営力強化推進委員会と成功事例選定委員会を実施

…詳細はP2～3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

農畜産業振興機構、食肉販売動向調査「調査の概要と24年度下半期、25年度上半期の特徴」①

農畜産業振興機構は食肉の消費・販売動向を把握するため、年に2回、卸売業者や小売業者(量販店および食肉専門店)の協力を得て、食肉の取り扱いや販売見通しに関するアンケート調査を実施している。今回は、2024年度下半期(24年10月～25年3月)の実績および25年度上半期(25年4～9月)の見通しについて調査を行った(25年2月時点)

調査の概要は以下の通りである。

卸売業者27社(うち、牛肉卸14社、豚肉卸13社)、小売業者81社(うち、量販店20社、食肉専門店61社)を対象に25年2月13～28日にアンケート調査を行い、全社から回答を得た。なお、調査対象者は、食肉の市況(仲間相場)や小売価格について、同機構が定期的に調査を実施している主要な食肉の卸売業者および小売業者であり、すべての業者ではない。今回の調査で特徴的だったのは以下の7点だった。

①24年度下半期(実績)は、前期(24年度上半期)に続き、円安やインフレの進展による物価上昇などの影響が調査の回答に反映される結果となった。

②卸売業者における24年度下半期の販売状況について、牛肉全体では、6割弱が「同程度」と回答があった。品目別にみても「同程度」が最も多い中、和牛と交雑牛は「小売向け需要の増加」などから「増加」が「減少」を上回った一方、輸入品(冷蔵・冷凍)は「相場高」などから「減少」が「増加」を上回った。豚肉全体では、6割強が「同程度」と回答があった。品目別にみると、国産豚肉は「外食向け需要の増加」などから「増加」が最も多く、輸入品(冷蔵・冷凍)は「同程度」が最も多かったものの「相場高」な

どから「減少」が「増加」を上回った。

③卸売業者における今後1年間の取扱見通しについて、輸入牛肉全体では、「同程度」と「減少」が同率で多かった。国別にみると、米国産は「同程度」が最も多い中、「相場高」などから「減少」が「増加」を上回った。

④小売業者(量販店)における24年度下半期の販売状況について、和牛および国産豚肉が「販促強化」などから「増加」となった一方、輸入牛肉および乳用牛が「値上げによる影響」などから「減少」となった。

⑤小売業者(量販店)における25年度上半期の販売見通しについて、和牛、輸入豚肉、国産鶏肉が「販促強化」などから「増加」となった一方、乳用牛および輸入牛肉が「原価高」などから「減少」となった。

⑥和牛の販売のための取り組み(量販店)については、「ハレの日需要の訴求」が最も多かった。そのほか、「高級食材として銘柄(ブランド)を打ち出す」「焼き肉セット(複数部位、畜種)」などは販売単価上昇を意図した取り組みとして位置付けられる。他方、「味付け肉の取り扱いを増やす」、「冷凍タイプの商品の品ぞろえを増やす」「特売の実施」などは販売数量の増加を意図した取り組みとして位置付けられる。

⑦卸売業者における24年度下半期の在庫量について、おおむね計画通りかやや多い水準となったが、国産豚肉はやや低い水準となった。(連載続く)

全肉連、経営力強化推進委員会と成功事例選定委員会を実施

全国食肉事業協同組合連合会(村上幸春会長)は9日、令和7年度食肉流通経営体質強化促進事業(食肉流通機能強化推進事業)の一環で、経営力強化推進委員会および成功事例選定委員会を東京都港区のアジミックビルで実施した。

経営力強化推進委員会の冒頭、全肉連の木村元治専務は店舗作りの補助について「店舗の取り組みをサポートする象徴的な事業であるため、大事にして進めていきたい。実施の際には即座に対応していきたい」とあいさつ。また、成功事例選定委員会では「や

はり国産の食肉といえば肉屋であり、われわれとしては和牛の消費喚起という点でも大事にしたい。これまでに70店舗を紹介してきたが、個人的でしっかりとした経営事例はまだまだある」と述べた。

同事業は、食肉小売店の活性化を目指すため、食肉専門店としての特色、対面販売のメリットを生かすとともに、経営の合理化、活力ある店舗作りを推進し、顧客の多様なニーズに対応した小売店の機能強化を図るもの。そのため、加工品や総菜などの製造の共同化、成功事例の収集・調査、有識者の支援体制の下での創意工夫を生かした個性的な店舗作りなどを推進する。

そのうち経営力強化推進委員会では、法務や税務、会計、労務管理などに関する専門知識の持ち主（税理士や中小企業経営診断士）による支援の下、創意と工夫を通じた個性的で活力ある店舗展開、持続性のある経営の確立を支援する。コンサルタント料や広報宣伝費といったソフト面について、一つの店舗で100万円を限度とし、その2分の1を補助するもの。



委員会では過去の応募事例を基に、実施に向けた体制の構築などについて、確認が行われた。

一方、成功事例選定委員会では、食肉加工品や総菜などの商品開発、店舗作りにおいて優れた店舗を選定し、専門家による調査や取材を行い、成功事例集・調査報告書を作成し、配布する。店舗側から進んで調査を希望するケースもあり、毎回反響が見受けられる。今年度の調査先に関する確認や、店舗への聞き取り内容の検討などが行われた。

第20回食育推進全国大会で特別セミナー 「服部幸應の食育の教えをつなぐ」開催

農水省は7、8日、徳島県などとの共催で、徳島市のアスティとくしま（徳島県立産業観光交流センター）で「第20回食育推進全国大会 in TOKUSHIMA」を開催した。毎年6月の「食育月間」に関連する全国的な取り組みとして行っているもの。食育基本法制定20周年となる本年の大会テーマは、「食の力は無限大～徳島から未来へつなぐ食育～」。7日は農水省の横山博一参事官（写真左）、NPO法人まちの食農教育代表理事の樋口明日香氏

（同中央）、学校法人服部学園服部栄養専門学校理事長・校長でNPO日本食育インストラクター協会理事長の服部吉彦氏（同右）がパネリストを務め、特別セミナー「食育基本法制定20周年に向けて 服部幸應の食育の教えをつなぐ～食育の三本柱を学ぶ



～」が行われた。昨年急逝した食育推進の第一人者故・服部幸應氏の理念である「食を通じて命を守り、文化を継承する」という視点を基に、「食育の三本柱（①選食力、②共食・しつけ、③伝承文化）」について、多角的な議論が交わされた。

アグロスーパー、チリの養豚事情をめぐるセミナーを開催

アグロスーパーはこのほど、チリの養豚事情をはじめとした、年間出荷頭数、枝肉総重量、生産コスト、利益、労働生産性などの目標と現状、そして、獣医師の役割、指導方法などについてのセミナーを開催した。

冒頭、高宮アンドレアス・アジアゼネラルマネジャー(上写真)が「本日は当社の生産の仕組みや、多角的な経営の面でわれわれがどういった理念を大切にしているか、企業経営に取り組んでいるのかを少しでも分かってもらえたらうれしい」とあいさつ。

続いて、セミナー講師1人目として、リオス・ハイメ生産マネジャー(中央写真)からチリの養豚事情や、同社事業の母豚頭数、農家数、出荷頭数、農場分布などと共に、年間出荷頭数、枝肉総重量、生産コスト、利益、労働生産性が発表され、農場規模ごとの取組事例を挙げながら「日本の食文化の難しさは、いろいろな形で豚肉を消費するスタイルにあると思っており、日本での販促・提供方法が成功できれば、全世界へと展開できると思っている。日本に古くからある食文化を深く理解し、最近のヘルシー思考も交えながら皆さまに訴求していきたい」と説明された。

休憩を挟み、講師2人目としてペラルタ・ヴォルフガング研究開発副マネジャー(下写真)から獣医師の役割、数値目標、チーム体制や指導方法などが発表され「日本を含めさまざまな国でセミナーを行わせ

ていただくたびに、われわれも学びをいただいている。獣医師の資格を持つ私が当社に入社したのが1985年。40年以上当社に勤務してきたが、チリは豚の飼育に理想的な条件であると胸を張って言える。また、当社はアニマルウェルフェアをはじめとした動物福祉や、遺伝的プログラムの解析まで高品質なサービスを提供できている自信がある」と述べ、締めくくった。



宮城県食肉3団体が、令和6年度合同総会を開催

宮城県食肉生活衛生同業組合(佐藤俊昭理事長=右ページ左写真)、宮城県食肉事業協同組合(森秀悦理事長=右ページ右写真)、宮城県食肉公正取引協議会の3団体は8日、仙台市のホテル白萩を会場に令和6年度合同総会を開催し、2025年度の議案を全て原案通り可決した。

冒頭、佐藤理事長が「皆さまのお集まり、協力によって3組合の活動報告、そして総会を執り行えることをうれしく思う。長丁場にはなるが、ぜひ活発な意見交換をいただきたい」とあいさつ。

その後、勉強会が開催され、3人が講演を行った。



最初にミツウロコヴィッセル東北の守屋和行氏が「高騰する電気料金についての対策」について説明。2人目として(株)遊然の頓所壱晟代表が「宮城

県食肉組合ホームページ開設」についてスライドショーの実例を交えながら紹介。最後に(株)日本政策金融公庫仙台支店国民生活第一事業融資第三課の村上英樹課長が「経営課題と価格転嫁の取り組み」についてリーフレットを使って、紹介した。



その後、宮城県食肉公正取引協議会、宮城県食肉生活衛生同業組合、宮城県食肉事業協同組合の総会が開催され、宮城県食肉事業協同組合の森秀



悦理事長(右写真)が、3団体それぞれの令和6年度の事業報告ならびに、7年度の事業計画案が報告された。

その後、会場を移し懇親会を開催。宮城県食肉生衛生

組合の高平巖副理事長が「組員数は減ってしまったが、現状の組合員から活発で、建設的な意見が飛び交う、盛況な総会であったと思う。これからも皆さまのご協力の下、継続的な活動を続けていきたい」とあいさつを述べ、懇親会へと移った。

広島食肉3団体が総会、生衛組合の新理事長に垣本氏を選出

広島県食肉事業協同組合連合会(垣本隆司会長)、同食肉生活衛生同業組合(新長謙三理事長)、同食肉公正取引協議会(同会長)は8日、広島市中区の環衛ビルで合同通常総会を開催した。県肉連は第60期、生衛組合が第68期、公取協が第43期。

総会開始前には令和7年度情報交換会として講習会が行われ、(株)食肉通信社編集部の黒田亮部長が「国内外の食肉需給と相場動向」のテーマで講演。講演では国産・輸入食肉の需給や相場の動向、今後の見通しなどについて説明を行った。

総会は生衛組合、公取協、県肉連の順で議案審議が進められ、それぞれ令和6年度事業報告、同収支決算および監査報告、7年度事業計画案および収支予算案、賦課金の徴収などについて審議し、いずれも原案通り可決。その中で生衛組合では新長理事長が年齢の問題もあり、垣本氏を新理事長に選出した。垣本新理事長は「微力ながら全力で努めたい」と抱負を述べた。

議案審議に先立って新長理事長・会長は「トランプ関税や諸物価の高騰、人手不足などの問題もあり、生活しづらい時代になってきた。また、60年ほどこの世界で頑張ってきたが、年齢の問題もあり垣本さんに次の役割を担っていただきたい」

垣本会長は新長理事長の功労をねぎらうとともに



「米国の関税はわれわれの地元企業マツダにも大きな影響を与えるもの。米をはじめとする物価高で厳しい他、運送費の値上げなどコストアップは今後も続く見通しで、牛肉から豚・鶏肉への需要シフトも避けられない。こうした中、全肉連事業の中でも小規模事業者が参加しやすいものを探っていきたい。皆さんのご協力をお願いする」などとそれぞれあいさつ。

連合会事業では昨年、組織整備強化事業、食肉流通経営体質強化促進事業などに取り組んだほか、食肉小売安全情報提供事業、食肉ギフト券推進事業、畜産高度化支援リース事業、畜産副産物適正処分等推進事業などを実施。7年度は、連合会の運営改善、全肉連からの補助事業、日本食肉協議会からの補助事業、畜産副産物適正処分等推進事業、食肉販売等合理化施設整備リース事業などに取り組む。

京都青年会が勉強会で子牛競り市場を視察

京都市食肉青年会(木村駿友会長)はこのほど、京都府福知山市の中丹家畜市場で開催された「京都府子牛競り市」を視察し勉強会を行った。

勉強会では競りの開始前に子牛の生体を視察。京都府農林水産技術センター畜産センター業務部の森一憲部長が市場の概要説明とともに購買者が子牛の競りで入札する際に重視するポイントを解説した。

同市場では、毎年1・3・6・9・11月に「子牛競り市」を開催。平均して100～120頭の子牛が出品されている。競り名簿では枝肉競り同様、出品牛の情報が記載されるが、その中で重視されるのが血統と期待育種価だ。

育種価とは、種牛の遺伝的な能力を推定し、数値で表したものだ。牛の枝肉成績は、その牛が両親から受け継ぎ生まれながらにして持っている「遺伝的能力」に加えて、肥育した農家の技術や出荷月齢など、生まれた後から出荷されるまでに置かれた「環境」に左右される。

そして育種価は子ども、孫、おい、めいなどの実際の枝肉成績、これらの牛の育った環境、同牛との血縁関係のデータをコンピューターで処理し、枝肉成績から「環境」に左右された部分を取り除いて、血縁関係から推定される「産肉に関する遺伝的能力」だけを算出したもの。現在、京都府では枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留まりおよび脂肪交雑(BMS)の6項目について計算している。

育種価は、産肉能力の高い牛を選抜・保留したり、長所短所を把握してそれぞれを補う交配相手を選ぶための目安として活用できる。すなわち、枝肉としての出荷を考える場合にはバランスの良さ、母牛候補として考える場合には種牛の短所を補える点を評価していく。

なお、子牛は父母の影響を半分ずつ受けるため、父と母の育種価を足して半分にした値を同牛の「期待育種価」とする。競り名簿に記載する際には、両親の育種価が判明している必要がある。枝肉重量、ロース芯面積、皮下脂肪厚、脂肪交雑の4項目について、京都府内で現存する育種価が判明した繁殖雌牛の平均値以上である場合に、AまたはBと表記され



る。また、オレイン酸合成能力の高い遺伝子を持つ母から生まれた子牛にはその点も別途記載している。

その他で重視されるポイントとしては、子牛の骨格、背の張り具合、子牛の日齢に対する体重(増体率)だ。京都産和牛子牛飼養管理マニュアルでは、出荷時目標として300日300kgを掲げており、1日当たり1kgの増体を目指している。名簿で開示される情報は血統(4代祖まで)、日齢、体重、期待育種価などで、これらに加えて実際に生体をその目で見極めて入札を行う。

この日の競りは欠場などがあったが、合計91頭(雌43頭、去勢48頭)が出品された。平均落札価格は約56万5千円、最高値は京都府与謝郡伊根町の和田由徳さんの出品子牛(性別=去勢、血統=〈父〉夏百合、〈母の父〉安福久、〈母の母の父〉百合茂、〈4代祖〉金幸、日齢=276日、体重=291kg、落札価格=70万1千円、購買者=㈱原作)だった。

勉強会と視察を経て、京都食肉青年会の木村会長は「普段、われわれの取り扱う枝肉のさらに元となる子牛だが、市場で評価されるポイントも子牛ならではのものです、非常に勉強になった。今後もこうした勉強会など、業界の情報交換の場を設けたい」と語った。

米国、メキシコからの生体牛の輸入を再度停止

米国農務省動植物衛生検査局 (USDA/APHIS) はこのほど、メキシコからの生体牛の輸入を再度停止することを発表した。今回の輸入停止についてUSDAは、メキシコ国内におけるラセンウジバエ (NWS) の発生エリアの拡大を受けたものとしている。輸入停止の対象には、メキシコを原産地とする生体牛のほか、メキシコを経由する生体牛も含まれており、牛以外にもバイソンと馬も含まれている。なお、USDAによれば、この輸入停止は、月単位で見直す可能性があると言われている。

これまでのメキシコからの生体牛の輸入については、24年11月にメキシコ南部の牛からNWSが検出されたことを受け停止していたが、25年2月には、両国当局間で合意したプロトコルに従って、指定された施設からの輸入を再開していた。

米国およびメキシコはNWSを根絶した実績があり、メキシコ国内での拡大の阻止と根絶に向け、当時の取り組みとして有効性が確認されている不妊バエの放飼などを再度実施している。両国は、同取り組みに対して協力することとされていたが、不妊バエの空中散布を行うべく米国側が契約した航空会社に対し、メキシコ側がメキシコ国内での航空機運用を制限し、散布作業に必要な航空機の部品、散布装置、殺虫剤に関税を課すなど、米国側が妨害を受けている状況であるとし、USDAは4月26日付でメキシコ当局に対して改善を要求する書簡を発送した。米国側は、4月30日までに状況が改善されない場合、メキシコからの生体牛などの輸入を停止することとしていたが、メキシコ当局により状況の改善がみられたとし、輸入は継続していた。

今般、両国の協力関係は継続している状況ではあるが、メキシコ国内でのNWS検出エリアが徐々に北上していることを受け、メキシコとの国境沿いにある米国南部の指定係留施設における生体の輸入を5月11日付で停止した。この輸入停止措置は、NWSの封

じ込めが十分に達成されるまで、月単位で継続されることとなる。メキシコ農業・農村開発省は、米国政府と協力し防疫対策を強化しているとし、その中でメキシコ南部の空港で新たに不妊バエを放つ施設を25年11月から稼働できるよう建設を進めることとしている。

現在、米国で牛群の再構築が進んでおらず、25年に新たに出生する子牛は24年より減少すると見込まれている。米国にとって、生体牛の輸入先はメキシコとカナダである。23年には198万頭、24年には204万頭が両国から輸入されていた。特にメキシコからの輸入は、24年11月から約3か月間停止していたにもかかわらず、24年4月から25年3月末までの生体牛輸入頭数 (約102・4万頭) は、カナダからの輸入頭数 (約86・5万頭) を上回っている。このため、輸入停止が長期化した場合、米国内でのさらなる肥育牛価格の高騰につながると予測されている。

このような状況の中で、全米肉牛生産者・牛肉協会 (NCBA) は、USDAによるメキシコからの生体牛の輸入停止を支持している。25年5月11日に公表された声明では、NCBAはUSDAと緊密に連携して状況を監視しており、メキシコ政府に対し、より積極的な介入によるNWSの拡大防止措置を要請してきたとしており、今回のNWSの検出エリア拡大はメキシコ政府の硬直的な対応によるものだと非難した。なお、今般の生体牛の輸入停止により米国内の農家に対して経済的損失や混乱が生じることは認識しているものの、NWSが万が一米国内に侵入した際のコストと比較してはるかに少ないとしている。また、25年5月14日には、テキサス州選出連邦議員を中心とした超党派グループによりNWSの拡散対策法案が提出された。この法案には、新たな不妊バエ生産施設を建設するための資金提供などが含まれている。(農畜産業振興機構)

【訂正】本誌9日付6ページ「馬喰一代」の記事で写真のキャプションに誤りがありました。正しくは深尾

将大副社長の写真でした。おわびして訂正します。

【資料】2025年4月分の食肉輸入通関実績⑪

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
R KOREA	103 KG		37704	24678	206064	126886
CHINA	105 KG		16940258	10346545	58112967	36475383
VIETNAM	110 KG		1196942	846026	3089770	2337981
THAILND	111 KG		25048383	17352781	97525545	70088761
MALYSIA	113 KG		-	-	1218	1534
INDNSIA	118 KG		13490	7245	33155	17926
PAKISTN	124 KG		1384	1387	1384	1387
SRILANK	125 KG		615	805	1237	1659
FRANCE	210 KG		-	-	34760	16449
GERMANY	213 KG		-	-	3189	2837
TURKEY	234 KG		28710	13705	42279	20682
LITHUAN	237 KG		19380	16266	19380	16266
USA	304 KG		-	-	14283	13681
BRAZIL	410 KG		19360	8799	174330	81562
TOTAL	990 KG		43306226	28618237	159259561	109202994
(E. U)	991 KG		19380	16266	57329	35552

1602. 39-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(第01.05項の家きんのもの(七面鳥を除く。))(牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)

FRANCE	210 KG		573	1687	660	2005
TOTAL	990 KG		573	1687	660	2005
(E. U)	991 KG		573	1687	660	2005

1602. 39-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(第01.05項の家きんのもの(七面鳥を除く。))(その他のもの)

CHINA	105 KG		778604	609165	2287926	1836258
THAILND	111 KG		4244	8792	10902	16893
FRANCE	210 KG		-	-	532	2060
TOTAL	990 KG		782848	617957	2299360	1855211
(E. U)	991 KG		-	-	532	2060

1602. 41-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したものの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。))のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG		581	1011	2217	10690
FRANCE	210 KG		473	1611	2305	12724
ITALY	220 KG		2263	2838	9818	12214
AUSTRIA	225 KG		307	462	2430	4779
SLOVENI	242 KG		-	-	37	218
CANADA	302 KG		-	-	5641	9084
TOTAL	990 KG		3624	5922	22448	49709
(E. U)	991 KG		3043	4911	14590	29935

1602. 41-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したものの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG		5269	4387	75445	57235
CHINA	105 KG		107367	57787	227929	149142
TAIWAN	106 KG		1464	2034	2904	4041
THAILND	111 KG		8745	8724	134894	155041
DENMARK	204 KG		12800	11610	25600	23220
USA	304 KG		102710	71964	1032558	616162
TOTAL	990 KG		238355	156506	1499330	1004841
(E. U)	991 KG		12800	11610	25600	23220

1602. 42-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したものの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るもの)

(単位：1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月 CURRENT MONTH		累 計 CUMULATIVE YEAR TO DATE	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
CHINA	105 KG		14418	14967	32898	35176
THAILND	111 KG		7542	11405	21199	30474
SPAIN	218 KG		342	882	3160	6957
AUSTRAL	601 KG		-	-	3803	5876
TOTAL	990 KG		22302	27254	61060	78483
(E. U)	991 KG		342	882	3160	6957

1602. 42-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したものの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG		-	-	14851	7862
CHINA	105 KG		44406	38436	125320	92398
THAILND	111 KG		22796	34297	34628	66138
SNGAPOR	112 KG		8640	50646	12960	76804
DENMARK	204 KG		155211	89697	189809	114614
IRELAND	206 KG		648000	370792	1893912	1112339
SPAIN	218 KG		200720	120244	310340	184487
CANADA	302 KG		1146340	631016	3392820	1877269
USA	304 KG		6378803	3570851	20398175	11698725
MEXICO	305 KG		989380	554886	3608340	2007770
CHILE	409 KG		982900	513118	3814540	2006257
TOTAL	990 KG		10577196	5973983	33795695	19244663
(E. U)	991 KG		1003931	580733	2394061	1411440

1602. 49-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(混合物を含む。)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

SPAIN	218 KG		-	-	24000	10228
MEXICO	305 KG		-	-	33555	8363
BRAZIL	410 KG		20556	9084	95484	46523
TOTAL	990 KG		20556	9084	153039	65114
(E. U)	991 KG		-	-	24000	10228

1602. 49-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。))のみから成るもの(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点価格以下のもの)

SPAIN	218 KG		45565	39260	88325	76103
TOTAL	990 KG		45565	39260	88325	76103
(E. U)	991 KG		45565	39260	88325	76103

1602. 49-220 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。))のみから成るもの(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG		11766	15547	102365	153360
TAIWAN	106 KG		9654	14610	30102	46933
THAILND	111 KG		13985	20626	67622	99148

[資料] 2025年4月分の食肉輸入通関実績⑫

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
NETHLDS	207 KG	-	-	-	10890	15178
FRANCE	210 KG	1599	-	3076	12433	25091
PORTUGL	217 KG	-	-	-	32	346
SPAIN	218 KG	-	-	-	23231	31402
ITALY	220 KG	583	802	3909	5109	5109
AUSTRIA	225 KG	-	-	-	3191	6984
CANADA	302 KG	4704	4853	12936	13558	13558
USA	304 KG	62311	151817	185462	470950	470950
TOTAL	990 KG	104602	211331	452173	868059	868059
(E. U)	991 KG	2182	3878	53686	84110	84110
1602. 49-290	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(そ 他のもの)					
R KOREA	103 KG	32851	17405	58309	28238	28238
CHINA	105 KG	998615	550330	2994599	1747141	1747141
TAIWAN	106 KG	5382	2211	19212	12520	12520
THAILND	111 KG	95802	118824	438075	596089	596089
SNGAPOR	112 KG	-	-	12067	11469	11469
PHILPIN	117 KG	-	-	922	1129	1129
DENMARK	204 KG	325922	216348	1318586	874354	874354
NETHLDS	207 KG	15668	14480	15668	14480	14480
FRANCE	210 KG	1170	3367	3114	8217	8217
GERMANY	213 KG	-	-	3246	5074	5074
SPAIN	218 KG	-	-	7808	10043	10043
CANADA	302 KG	-	-	921	1421	1421
USA	304 KG	1669156	1185678	8037776	5748749	5748749
MEXICO	305 KG	88160	50690	372505	238049	238049
BRAZIL	410 KG	4210	1499	19783	6801	6801
TOTAL	990 KG	3236936	2160832	13302591	9303774	9303774
(E. U)	991 KG	342760	234195	1348422	912168	912168
1602. 50-100	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全 形のもの及び断片(単に水煮したもの))					
SPAIN	218 KG	-	-	20711	12406	12406
USA	304 KG	371154	195808	1572023	770992	770992
CHILE	409 KG	-	-	1281	516	516
AUSTRAL	601 KG	10801	3898	51043	17410	17410
TOTAL	990 KG	381955	199706	1645058	801324	801324
(E. U)	991 KG	-	-	20711	12406	12406
1602. 50-291	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌)(単に水煮し たもの)(気密容器入りのもの(野菜を含むもの)を 除く。)					
BRAZIL	410 KG	8733	8808	12127	12360	12360
TOTAL	990 KG	8733	8808	12127	12360	12360
1602. 50-320	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%未満のもの)(気密容器入りの もの(野菜を含むもの))(米を含むものを除く。)					
MALYSIA	113 KG	-	-	259	342	342
TOTAL	990 KG	-	-	259	342	342
1602. 50-339	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%未満のもの)(米を含むも の)(気密容器入りのものを除く。)(野菜を含むもの を除く。)					
AUSTRAL	601 KG	20844	19539	52524	49136	49136
TOTAL	990 KG	20844	19539	52524	49136	49136
1602. 50-390	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%未満のもの)(その他のもの)					
R KOREA	103 KG	-	-	1920	882	882
CHINA	105 KG	199392	151633	280387	217180	217180
TOTAL	990 KG	199392	151633	282307	218062	218062

(単位: 1,000円、UNIT: ¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
1602. 50-510	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも の)(気密容器入りのもの)(冷蔵及び冷凍のいずれ もしていないもの)					
NEWZELD	606 KG	8469	39494	21807	110313	110313
TOTAL	990 KG	8469	39494	21807	110313	110313
1602. 50-590	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも の)(気密容器入りのものを除く。)					
CHINA	105 KG	-	-	3563	18780	18780
AUSTRAL	601 KG	2754	12930	5508	25798	25798
TOTAL	990 KG	2754	12930	9071	44578	44578
1602. 50-600	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(コーンビーフ)					
PHILPIN	117 KG	-	-	6048	8224	8224
BRAZIL	410 KG	24537	16493	26985	18158	18158
URUGUAY	412 KG	-	-	15667	12913	12913
NEWZELD	606 KG	-	-	31197	61199	61199
TOTAL	990 KG	24537	16493	79897	100494	100494
1602. 50-700	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの もの(野菜を含むもの))					
R KOREA	103 KG	-	-	21600	14473	14473
CHINA	105 KG	18532	13660	55596	42299	42299
PAKISTN	124 KG	402	378	402	378	378
AUSTRAL	601 KG	994441	904223	1864700	1733479	1733479
TOTAL	990 KG	1013375	918261	1942298	1790629	1790629
1602. 50-890	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの もの(冷蔵及び冷凍のいずれもしていないものに限 るものとし、野菜を含むものを除く。))(その他の もの)					
THAILND	111 KG	-	-	10506	15894	15894
GERMANY	213 KG	-	-	1398	1453	1453
TOTAL	990 KG	-	-	11904	17347	17347
(E. U)	991 KG	-	-	1398	1453	1453
1602. 50-910	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(単に水煮したも の)					
BRAZIL	410 KG	4313	3441	4313	3441	3441
TOTAL	990 KG	4313	3441	4313	3441	3441
1602. 50-999	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの ものを除く)(その他のもの)					
AUSTRAL	601 KG	-	-	7610	11628	11628
TOTAL	990 KG	-	-	7610	11628	11628
1602. 90-100	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(腸、ぼうこう又 は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))					
ARGENT	413 KG	-	-	42552	23215	23215
AUSTRAL	601 KG	-	-	500	267	267
TOTAL	990 KG	-	-	43052	23482	23482
1602. 90-210	その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(牛若しくは豚の 肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)					

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 6月10日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 105頭	高値	3,243	2,280	2,055	1,946	-
		安値	2,052	1,947	1,620	1,495	-
		平均	2,365	2,099	1,923	1,738	-
		頭数	62	30	10	3	-
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	1,728	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 A 148頭	高値	3,241	2,236	2,052	1,838	-
		安値	2,004	1,926	1,836	1,772	-
		平均	2,448	2,102	1,957	1,803	-
		頭数	102	30	12	4	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 22頭	平均	-	1,676	1,537	1,409	-
		頭数	-	2	9	11	-
	雌 C 1頭	平均	-	-	1,368	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
去 B 31頭	平均	-	1,660	1,567	1,455	-	
	頭数	-	1	14	16	-	
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	390 399	654 828	- 60.0	(競り)	(相対)	- 72

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,507	1,779	1,460	1,439	-
	B	-	-	1,431	1,334	1,062
和 去	A	2,542	2,123	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,048	962
	C	-	-	-	969	933
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,531	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	1,527	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	1,005	985	941	785	907
	安値	841	788	725	421	302
	平均	877	842	802	727	533
	頭数	(10)	(287)	(292)	(153)	(86)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 6月10日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,531	2,171	-	-	-
(頭数)	(8)	(5)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,405	2,199	-	-	-
(頭数)	(34)	(6)	(-)	(-)	(-)
B	2,052	-	-	-	-
(頭数)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,742	1,664	1,501	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,719	1,655	1,512	-
C	-	1,670	1,513	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	6月10日	6月9日	(6月累計)
豚	62,600	61,500	416,600
成牛計	4,190	4,380	28,410
和牛雌	1,040	1,110	7,340
和牛去勢	1,200	1,390	7,690
乳牛雌	670	330	3,900
乳牛去勢	480	470	3,050
交雑雌	400	380	2,670
交雑去	400	700	3,760

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 6月10日

	1,487円	(前日 1,482円)
東京		
	1,609円	(前日 1,627円)
大阪		

[豚・全農建値] 6月10日

上	中	取引頭数	市況
826円	797円	1,153頭	反発

と畜 売買	牛 25頭 牛 102頭	豚 118頭 豚 32頭	牛概況 強もちあい 豚概況 まちまち
----------	-----------------	-----------------	-----------------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 6月10日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	691 (691)	- (-)	5,955	-	もちあい
仙台 [中]	744 (750)	692 (686)	434	35	反落
栃木 [地]	- (-)	- (-)	-	-	休市
茨城 [地]	825 (822)	793 (788)	1,095	591	小反落
群馬 [地]	825 (834)	770 (750)	2,077	279	小反落
さいたま [中]	814 (808)	799 (804)	200	206	反落
東京 [中]	842 (825)	802 (782)	654	828	上伸
横浜 [中]	822 (819)	792 (790)	600	599	もちあい
山梨 [地]	865 (-)	843 (-)	114	64	品薄高
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	752 (753)	707 (698)	954	247	もちあい
京都 [中]	787 (733)	740 (660)	112	110	もちあい
大阪 [中]	- (791)	- (746)	118	-	上場なし
神戸 [中]	842 (-)	833 (-)	-	141	-
岡山 [地]	741 (765)	706 (717)	266	235	弱気配
広島 [中]	767 (744)	723 (704)	287	116	急騰
福岡 [中]	734 (724)	699 (688)	405	84	上伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 6月3日～6月9日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,621,907 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,197	1,260	1,283	1,258	71,610
うで	818	882	909	875	124,655
ロース	1,109	1,166	1,209	1,164	148,265
ばら	1,224	1,259	1,344	1,279	157,952
もも	837	855	904	860	155,248
ヒレ	1,058	1,134	1,279	1,159	12,218
セット	1,059	1,102	1,156	1,105	951,959

◇近畿圏 総重量 734,363 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,242	1,350	1,404	1,345	55,423
うで	799	827	867	828	124,728
ロース	1,112	1,219	1,291	1,209	95,309
ばら	1,237	1,314	1,372	1,310	121,568
もも	818	851	896	851	183,197
ヒレ	1,246	1,378	1,428	1,364	10,934
セット	1,027	1,122	1,173	1,107	143,204

[食鳥正肉日経相場] 6月9日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	723	834	1,012	190
ムネ	479	526	673	179

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	758	829	1,030	3
ムネ	481	530	616	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 6月9日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,116	728	550	600	650
安値	720	502	290	360	350
平均	848	530	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します